

(別紙2 様式)

[普及事項]

新技術名：秋田県におけるニホンナシ早生品種「あけみず」の特性（平成19～23年）

研究機関名 果樹試験場天王分場班
担当者 長澤正士

[要約] ニホンナシ「あけみず」は、収穫期が「幸水」より10日以上早い赤ナシである。果重は400gを超え、「幸水」と同等以上である。糖度および酸度は「幸水」よりやや高く、多汁で甘酸適和な食味である。裂果、収穫前落果、みつ症等はみられない。

[普及対象範囲]

県内ニホンナシ生産者

[ねらい]

「幸水」より前に収穫できる赤ナシとして「多摩」や「筑水」などが挙げられるが、本県においては、両品種ともに「幸水」より小さく収穫期の大半が重なるなどの問題があった。そこで、神奈川県農業技術センターが育成した早生の新品種である「あけみず」の本県における適応性について検討する。

[技術の内容・特徴]

- 1 ニホンナシ「あけみず」の収穫期は、「幸水」に比べ始期が11日早く、終期が同品種の収穫始期頃となるためほとんど重ならない（表1、2）。
- 2 果重の平均値は416gと、「幸水」より大きく、「豊水」と同程度である。果実硬度、酸度は、「幸水」と「豊水」の間で、糖度は「幸水」、「豊水」よりやや高い（表3）。食味は、多汁で甘酸適和である。
- 3 果形は円形で条溝が発生する場合もあるが「豊水」より少なく、玉揃いは同品種より優れる（写真1）。
- 4 裂果、みつ症、収穫前落果は認められない。年次により軸折れが発生するが、「あきづき」より少ない。

[成果の活用上の留意点]

- 1 開花始期は「豊水」と同時期で「幸水」より早く、受粉樹として利用できる（表1）。なお、自家不和合性のS遺伝子はS₃S₅であり、主要品種では同じ遺伝子型である「豊水」とは相互に交配出来ない。
- 2 花芽の着生は、短果枝は「豊水」並、長果枝の腋花芽は「幸水」より少ない。そのため、せん定の際は、短果枝中心に花芽を確保する。

[具体的なデータ等]



写真1 収穫期のニホンナシ「あけみず」

表1 ニホンナシ「あけみず」の初期生態

品種名	発芽期	展葉期	開花始	満開期	落花期
あけみず	4月 8日	4月27日	5月 2日	5月 5日	5月13日
幸水	4月12日	5月 1日	5月 6日	5月10日	5月18日
豊水	4月 9日	4月26日	5月 2日	5月 7日	5月17日

平成21～23年（3カ年）の平均

表2 ニホンナシ「あけみず」の収穫期

品種名	収穫始期	収穫盛期	収穫終期
あけみず	8月22日	8月31日	9月 3日
幸水	9月 3日	9月15日	9月22日
豊水	9月24日	9月27日	10月 2日

表3 ニホンナシ「あけみず」の果実品質

品種名	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (pH)
あけみず	416	5.1	13.0	4.8
幸水	401	5.4	12.5	4.9
豊水	411	4.7	12.4	4.5

平成21～23年（3カ年）の平均

[発表文献等]

特になし